



平成 22 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ドトール・日レスホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 星野 正則
(コード番号 3087 東証第 1 部)
問合わせ先 常務取締役 木高 毅史
(TEL:03-5459-9178)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月期の第 2 四半期の業績結果及び外食業界を取り巻く経営環境等を踏まえ、平成 22 年 4 月 14 日付「平成 22 年 2 月期 決算短信」において公表いたしました平成 23 年 2 月期(平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 2 月期の連結業績予想の修正

(単位:百万円) (単位:円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	109,897	9,972	10,299	5,317	105.44 円
今回修正予想(B)	106,050	8,577	9,019	4,804	95.26 円
増減額(B - A)	△3,847	△1,395	△1,280	△513	△10.18 円
増減率(%)	△3.5%	△14.0%	△12.4%	△9.6%	△9.7%
前期比増減額	5,262	△463	△422	621	12.31 円
前期比増減率(%)	5.2%	△5.1%	△4.5%	14.8%	14.8%

前期実績(平成 22 年 2 月期)	100,788	9,040	9,441	4,183	82.95
--------------------	---------	-------	-------	-------	-------

2. 業績予想修正の理由

当期につきましては、輸出企業の生産の持ち直しなどから景気の悪化に底打ちの兆しは見られるものの、企業の設備や雇用は過剰感が続き、先行き不透明な環境が一段と高まっております。外食業界においても、一部企業の業績回復が個人所得の増加につながらず、依然として節約志向が強く、業態の垣根を越えた低価格競争など一段と厳しい経営環境となっております。

このような環境の中、当社では新業態の立ち上げ、新メニュー開発、価格の柔軟な見直しなど既存事業の強化を行うとともに、M&Aによる事業領域の拡大などに努めましたが、レストラン部門を中心とした既存店売上の回復が遅れ、計画を下回る見込みです。直近の月次は回復傾向にあるものの、上期の遅れを取り戻すことが厳しいと予想されることから、業績予想を修正したものです。

以上

* 上記予想については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。